

介護保険情報

2010年2月23日(火) 第1078号

**TIMES  
FAX  
SERVICE**

火曜日・金曜日送信  
(祭日を除く)

# 介護保険情報

**株式会社医療タイムス社** TEL (026)234-3847  
FAX (026)235-6089  
〒380-8692長野県町460 長教ビル2階 E-MAIL kaigo@times-net.info

※この情報は契約会員のみ提供するものです。従って複製等により第三者へ流すことはご遠慮ください。

介護保険情報

2010年2月23日(火) 第1078号

**「互いに支え合うシステム重要」 矢嶋氏が上田市で講演**

上田市真田町でアザレアンさなだを運営する社会福祉法人恵仁福祉協会(黒澤博身理事長)などは20日、同市真田公民館で地域住民を対象とした集会を開き、矢嶋診療所の矢嶋嶺院長が「むら・まちで賢く生きる むら・まちと賢く生きる」との演題で講演し、地域の住民が互いに支え合うシステムづくりの必要性を強調した。

「真田の郷 みんなのつどい」と銘打った集会は、地域のどこにいても安心して暮らせるようにすることを目指した、同法人が中心となって進めている「地域分散型サテライトケアの発展と新たな地域づくり」事業の一環。約50人が参加した。

矢嶋氏は、患者の入院期間が短くなる一方、上小地域では療養病床のある施設が少ないと指摘。小規模多機能などのサービスの整備に加え、「皆さん自身が考え、ボランティア活動などでいざとなったら互いに支え合うシステムをつくっていくことが重要」と呼び掛けた。

また、高齢者に対する家族の姿勢について、「ろくに見舞いに来ないのに、年金を期待して『生きてさえくれればいい』と言う」と批判。「口から食べられないからと胃瘻を作らされ、植物人間のようになって生かされる患者を見ると、涙が出るし、自分がそうなるかと思うとぞっとする」と述べた。

「そうならないために、地域で生きて死んでいくためのシステムをゼロから考え直す必要がある」と訴えた。

**日本語教育や受験機会増を提言へ EPAで、病院団体**

経済連携協定(EPA)に基づいて日本の医療施設に受け入れる外国人看護師・介護福祉士候補者について、民間病院を中心とする協議会は21日、来日前に十分な日本語教育を受けさせるなどの提言を近く、関係省庁に提出する方針を固めた。

来日する候補者は就労前6カ月間、日本語研修を受けるが、病院業務に必要とされる日本語能力を満たしていない人も目立ち、病院側の負担は少なく